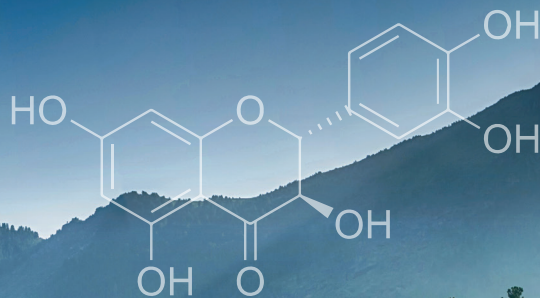


高品質タキシフォリン含有カラマツ由来健康サポート素材

ビタロースト[®]



VitaRost[®]

概要

ビタロースト[®] (VitaRost[®]) は、ロビオス社が製造する高品質のタキシフォリン(ジヒドロケルセチン)を含有する天然素材100%製品です。純度92%規格とし、健康食品や化粧品等の原料として使用できます。

由来

原料の由来は、タキシフォリンの抽出に最適なシベリア(イルクーツク)のカラマツです。ロビオス社の製造工場へ輸送し樹皮を剥ぎ、細かく粉碎後、タキシフォリンの抽出を行います。



製造技術

他社とは異なり、タキシフォリンの高い活性と安定した特性を保証する独自のアルコール抽出技術のみを使用しています。一回抽出であるため、自然本来のカラマツの香りがするのも特徴です。



生産設備

国際基準であるISOとHACCPに対応している他、医薬品、食品、食品添加物、および有効成分の生産において一般的に認められている基準システムである国際GMP基準の要件に準拠しています。



実績

現在、15カ国と取引し、ロシア、米国、カナダ、ヨーロッパ諸国、中国が主要な取引国です。弊社はロビオス社と独占販売契約を締結し、日本における総輸入販売元となっております。



ロビオス社について



ロビオス社は、ロシアの建材メーカーのロビテックグループにおけるタキシフォリンとアラビノガラクトランの事業会社として2013年に設立されました。ロビテックグループは建材市場の7割のシェアを誇るリーディングカンパニーで、ロシアでは大変知名度の高い企業グループです。品質、安全性にこだわり、水-エタノールによる独自の抽出方法を確立するなど、ロシア科学アカデミーと関係を持ち、バイオテクノロジー研究所をホストしているプシノ学術センターの9つの科

学研究所出身の研究者で構成されたバイオベンチャーとして創業しました。現在は15か国と取引をするなど、世界的なタキシフォリンメーカーのトップ企業のひとつでもあります。同社の高品質と抗酸化・抗糖化力を向上したタキシフォリンの抽出技術はここから生まれました。独自の品質分析ラボを持ち、国際基準であるISOとHACCPに対応している他、GMP基準に準拠した工場において、原料の抽出や安定した品質を提供しています。



ビタロースト® の主要成分

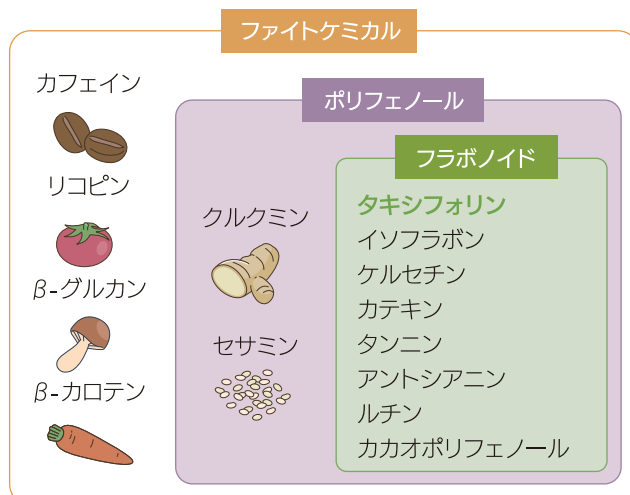
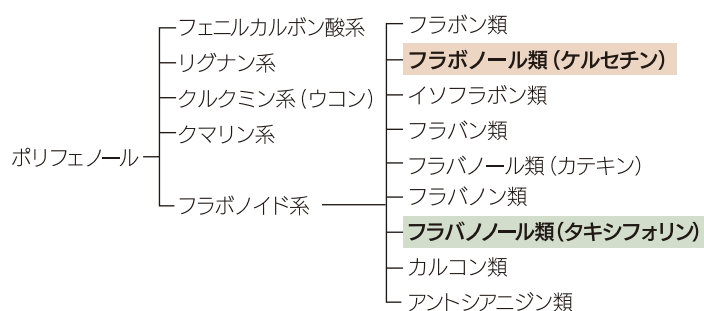
タキシフォリン (ジヒドロケルセチン)

タキシフォリンは、私たちの身近なものでは、あずき、ネギやリンゴ、柑橘類、ダークベリー、ブドウなどの野菜やフルーツ、ワタやモロコシの実、さらには落花生やオリーブオイルなどに含まれています。そのほかにも、昔からハーブや薬用植物で用いられているオオアザミ(マリアアザミ)の成分の1つとしても知られています。

タキシフォリンは、ブドウの種子やバラの花びら

からの抽出が試みられましたが、タキシフォリンが最初に抽出されたのは、アメリカンオーク(アカガシワ ブナ科の落葉高木：原産地北米)であることがわかっています。タキシフォリンはカラマツなど針葉樹に多く含まれ、草本植物や低木の成分の中でも数多く発見されていますが、極地に近い激寒の地域に生育している樹木ほど良質なものが抽出できるそうです。

ポリフェノールの種類(特にフラボノイド)について



タキシフォリンの主な機能

抗酸化作用

タキシフォリンは、これまで発見された天然物質の中でも強力な抗酸化作用があります。抗酸化作用により活性酸素による細胞の障害を防ぎ、生活習慣病の予防や改善に役立つ可能性があることから、近年注目されています。活性酸素消去機能を数値化した指標の1つであるORACにおいて、タキシフォリンは、抗酸化ビタミンとして知られるビタミンCよりはるかに高い抗酸化力を持っていることが分かっています。

抗糖化作用

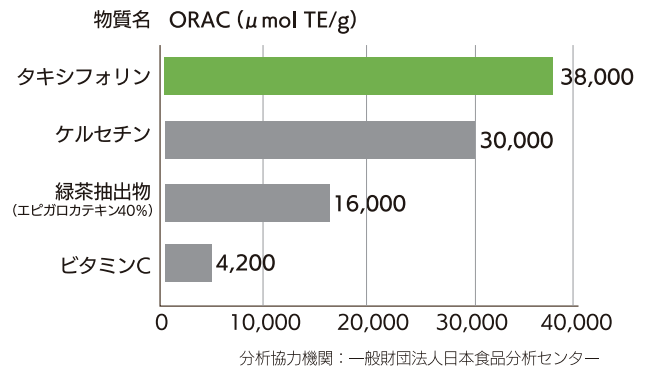
抗糖化作用とは、糖質とタンパク質が結びついた糖化物質の生成を抑える作用のことを言います。糖化は、食事などから摂った余分な糖質が体内のタンパク質などと結びつく現象で、細胞などを劣化させます。糖化によってつくられるAGEsは血管、臓器、肌などのタンパク質に作用し、動脈硬化や白内障、認知症などの多くの病気に関係していることが知られています。タキシフォリンは、抗糖化作用があるため、糖化によるタンパク質の変性を防ぎ、健康や美容に大きく貢献できる素材として期待されています。

血管保護・血流改善作用

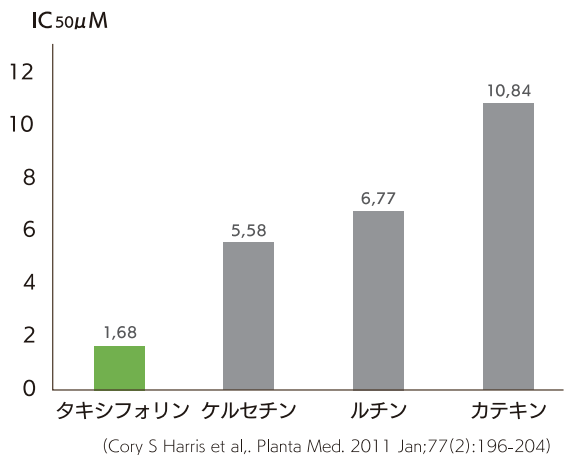
血管は年を取れば、少しずつ傷み、自然と弾力性が失われていきます。また血管の内壁に悪玉コレステロール(LDL コレステロール)がこびりつき、コブ状のプラークが形成されます。そのため、加齢とともに、血液がスムーズに流れにくくなり、血管内皮細胞が傷害され、動脈硬化が起きていきます。タキシフォリンは、血液成分の脂質やコレステロールの酸化を防ぎ、こうした脂質が血管にこびりつくのを防ぎますので、血管内皮機能の低下を防ぐことが期待できます。



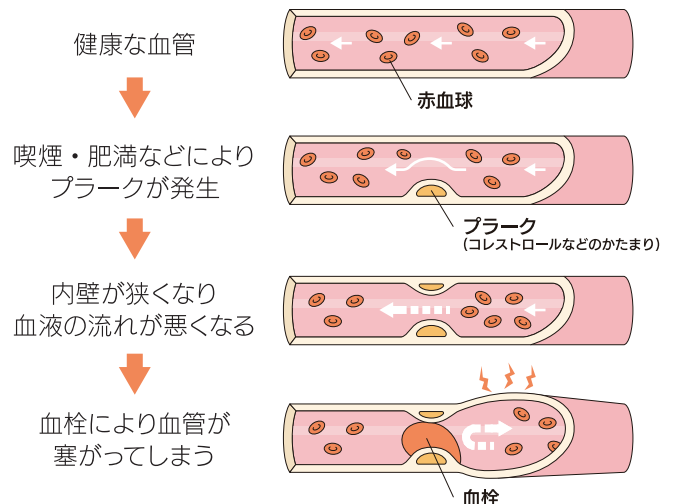
ポリフェノール類の活性酸素吸収能力 (ORAC値)



ポリフェノール類の抗糖化活性 (IC₅₀μM値)



動脈硬化発生と進行



タキシフォリンに関する研究

国内外で研究が数多くされているポリフェノール
の一種で医学・生物学系の学術データベース
「MEDLINE」によると、1000論文以上が掲載
されています。タキシフォリンは、**抗酸化¹⁾²⁾、
抗糖化³⁾、抗炎症⁴⁾、血流改善⁵⁾、血管保護⁶⁾⁷⁾⁸⁾**
などの作用があることが数多くの研究でわかっ
ており、糖尿病などの生活習慣病の予防や改善
に役立つ可能性が示されています。
また、近年、認知症に関する研究⁹⁾¹⁰⁾¹¹⁾が国内外
で行われており、マウスの実験でアルツハイマー

病の原因となる異常なタンパク質(アミロイド
 β)の脳内蓄積を抑え、認知機能を回復させる
物質であることが示唆されています¹²⁾。
タキシフォリンの原産地であるロシアにおいて数
多くの研究が行われて同国内で発表されていま
すが、これらの研究や試験に関する情報はロシ
ア語のみで存在しているものがほとんどで、英
語に翻訳されていません。詳しくはロビオス社の
ホームページに掲載されています。



ロビオス社ホームページ HUMAN HEALTH (STUDIES IN ENGLISH)
<https://russiantaxifolin.com/pishchevaya-promyshlennosty/>



1. Xican Li, Hong Xie, Li X, et al. The mechanism of (+) taxifolin's protective antioxidant effect for $\cdot\text{OH}$ -treated bone marrow-derived mesenchymal stem cells. *Cell Mol Biol Lett*. 2017 Dec 27;22:231.



2. Y O Teselkin, I V Babenkova, et al. Dihydroquercetin as a means of antioxidative defense in rats with tetrachloromethane hepatitis. *Phytother Res*. 2000 May;14(3):160-2.



3. Daisuke Muramatsu, Hirofumi Uchiyama, et al. Cell cytotoxicity and anti-glycation activity of taxifolin-rich extract from Japanese larch, *Larix kaempferi*. *Heliyon*, 2019 Jul;5(7)



4. Melanie Ricke-Hoch, Elisabeth Stelling, et al. Impaired immune response mediated by prostaglandin E2 promotes severe COVID-19 disease. *PLOS ONE*. 2021 Aug;16(8).



5. M B Plotnikov, O I Aliiev, et al. Dihydroquercetin Improves Microvascularization and Microcirculation in the Brain Cortex of SHR Rats during the Development of Arterial Hypertension. *Bull Exp Biol Med*, 2017 May;163(1):57-60.



6. Yuri A Kim, Antonina F Korystova, et al. Flavonoids decrease the radiation-induced increase in the activity of the angiotensin-converting enzyme in rat aorta. *Eur J Pharmacol*, 2018 Oct;837:33-37.



7. Tamara V Arutyunyan, Antonina F Korystova, et al. Effects of taxifolin on the activity of angiotensin-converting enzyme and reactive oxygen and nitrogen species in the aorta of aging rats and rats treated with the nitric oxide synthase inhibitor and dexamethasone. *Age (Dordr)*. 2013 Dec;35(6):2089-97.



8. Xiangyu Cao, Ruochen Bi, et al. A study on the protective effects of taxifolin on human umbilical vein endothelial cells and THP-1 cells damaged by hexavalent chromium: a probable mechanism for preventing cardiovascular disease induced by heavy metals. *Food Funct*. 2020 May;11(5):3851-3859.



9. Takayuki Inoue, Satoshi Saito, et al. Pleiotropic neuroprotective effects of taxifolin in cerebral amyloid angiopathy. *PNAS*. 2019 May;116(20):10031-10038.



10. Masashi Tanaka, Satoshi Saito, et al. Potential Therapeutic Approaches for Cerebral Amyloid Angiopathy and Alzheimer's Disease. *Int J Mol Sci*. 2020 Mar;21(6):1992.



11. Satoshi Saito, Yumi Yamamoto, et al. Taxifolin inhibits amyloid- β oligomer formation and fully restores vascular integrity and memory in cerebral amyloid angiopathy. *Acta Neuropathol Commun*. 2017 Apr;5(1):26.



12. 齊藤 聡, 脳アミロイド血管症の新規治療薬の開発. *脳循環代謝*. 2018;30(1): 23-28.



総輸入発売元

株式会社
三旺コーポレーション
SANOH CORPORATION

住所 〒106-0045

東京都港区麻布十番 2-8-14 アイオー麻布 2a

電話 03-3769-7538 FAX 03-3769-7539



HPをチェック!